

はじめに

本年度の CA 研究会は、2014 年 1 月 7 日～8 日に、東京大学地震研究所で開催されました。

今回の研究会は、諸機関の共同研究（研究集会など）からの資金を獲得することができなかつたために、参加者が少なくなることが懸念されました。しかし、これまでと変わらないのべ、100 余名の参加者がありました。手弁当でも、多くの参加者がいることは、この研究会の幹の太さや確かさを感じました。一方、研究会のテーマに関する縛りが無いことから、研究会の構成を、自由にすることができ、新しい試みとして、学生セッションおよびテーマ別小セッション（JEMINI 計画）を新たに設けました。前者では、学部 4 回生、大学院生の発表に対して、質疑応答の時間を長く設定し、良い意味で若い人を鍛えること、多くのメンバーからアドバイスを受けることをめざしました。このようなセッションを行うには、発表を聞く側にも大きな役割があります。座長をはじめ、参加者のみなさんが、趣旨をよく理解していただき、大変に活発なセッションとなったと思っています。新しい人材を育てていくことは、CA グループの将来の発展を考える上で重要です。その一助となれば幸いです。また、後者のテーマ別小セッションでは、JEMINI を取り上げました。いくつかの国で展開されています大規模プロジェクトの紹介および、これまでに我々のグループが展開してきた観測の場所、規模、内容について、広く共通認識を持つことができ、日本発の大規模プロジェクトおよび、研究会メンバー各人が行う研究計画立案の上で、役立つとの印象を強く持ちました。

最後に、本研究会の開催にあたり、東京大学地震研究所の方々、特に、上嶋誠さん、小山崇夫さん、小河勉さんには大変ご尽力を頂いたことに感謝いたします。

2014 年度世話人  
山 口 寛  
(大阪市立大学大学院  
理学研究科)